

平成25年度
びんリユースシステム構築に向けた実証事業
概要・進捗状況の報告

平成25年度 びんリユースシステム構築に向けた実証事業

- 平成23年度、平成24年度に引き続き、検討会で得られた知見を活用しつつ、実証事業を行う。
- 平成25年10月17日(木)から11月1日(金)まで募集したところ、全国から4件の応募があり、実効性、先進性、発展性・波及性、独自性、関係者との連携といった観点により検討した結果、4件を選定。平成25年12月から実施。

	申請代表者・実施地域	事業概要
1	関東連絡協議会 (1都10県(東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県、群馬県、栃木県、茨城県、新潟県、山梨県、静岡県、長野県))	関東甲信越を対象としたびんリユースシステム構築の実証事業 <ul style="list-style-type: none"> ・1都10県を対象に、びんリユース推進のための実態調査、需要・供給に関する情報を整理する。消費地である東京地区と、生産地である他の地域とのネットワーク化を図る。 ・関東甲信越地域を中心に、地域間の連携体制を構築し、需給情報をリアルタイムで更新するウェブサイトの構築等を踏まえて、広域でのびんリユースシステムの構築を図る。
2	大阪府地球温暖化防止活動推進員3R推進チーム 大阪びんリユース推進協議会 (大阪府)	「大阪発リユースビン」の開発事業 <ul style="list-style-type: none"> ・大阪府地球温暖化防止活動推進員などを中心に、府民発想の新たなリユースびん入り飲料を開発、大阪府及び43市町村での会議等での利用を図る ・推進組織として大阪びんリユース推進協議会の組織・連携を図っていく。
3	World Seed(ワールド シード) (奈良県)	奈良県におけるリユースびんを用いた大和茶飲料普及促進事業 <ul style="list-style-type: none"> ・奈良県を中心に、びんリユース推進のための協議会を設立。H24年度実証事業で開発した大和茶『と、わ(To WA)』に加え、各種リユースびん入り飲料の利用促進・拡大を図る。 ・奈良地域でのびんリユース推進に向けた取組を発信するための、PRイベント、シンポジウム等を企画・実施する。
4	NPO団体岡山賢人プロジェクト (岡山県)	岡山県産茶葉を用いたリユースびん入り飲料の開発事業 <ul style="list-style-type: none"> ・地元岡山県産の茶葉を用いたリユースびん入り飲料「(仮称)岡山ほうじ茶」を開発・販売、岡山の産学官民の全ての主体にタイしてリユースの認知・体験を促す。 ・リユースびん飲料の利用者に対するヒアリング調査による普及するための課題把握、概算レベルのカーボンフットプリントの評価などを行う。

関東甲信越を対象としたびんリユースシステム構築の実証事業

- 1都10県を対象に、びんリユース推進のための実態調査、需要・供給に関する情報を整理する。
- 消費地である東京地区と、生産地である他の地域とのネットワーク化を図っていく。需給バランスを踏まえて、新たな共通びんの検討を行う。
- 関東地域を中心に、地域間の連携体制を構築し、需給情報をリアルタイムで更新するウェブサイトの構築等を踏まえて、広域でのびんリユースシステムの構築を図る。

事業名称	関東甲信越を対象としたびんリユースシステム構築の実証事業
申請代表者	関東連絡協議会
実施地域	1都10県(東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県、群馬県、栃木県、茨城県、新潟県、山梨県、静岡県、長野県)
対象びん	清酒、ワイン、飲料、調味料、サイダー、地ビール等種類を限定せずに検討 (清酒ではR720mlを中心に、その他中身については新しい共通びんの可能性も検討)
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・1都10県を対象に、びんリユース推進のための実態調査、需要・供給に関する情報を整理する。消費地である東京地区と、生産地である他の地域とのネットワーク化を図っていく。需給バランスを踏まえて、新たな共通びんの検討を行う。 ・関東甲信越地域を中心に、地域間の連携体制を構築し、需給情報をリアルタイムで更新するウェブサイトの構築等を踏まえて、広域でのびんリユースシステムの構築を図る。
回収本数(想定)	167万本(平成27年度の目標)
本年度の 具体的取組 (予定)	<ul style="list-style-type: none"> 4地域でのリユースびん可能性調査 -本年度は、生産地である静岡地区、山梨地区、茨城地区、消費地である東京地区を対象にリユースびん可能性調査を実施。東京地区ではアンケート調査を実施。 行政回収されたコンテナびんの組成調査 新しい共通びんを作るためのびん型の検討 リユースびんの需要・供給情報をマッチングするウェブサイトの構築 / など

- 本年度は、生産地である静岡地区、山梨地区、茨城地区、消費地である東京地区を対象にリユースびん可能性調査を実施、行政回収されたコンテナびんの組成調査、新しい共通びんを作るためのびん型の検討、リユースびんの需要・供給情報をマッチングするウェブサイトの構築を図る。
- 関東甲信越びんリユース推進協議会(仮称)の設立に向けて、関係者間での連携・推進体制の構築を目指していく。

連携・推進体制(予定)

関東甲信越びんリユース推進協議会(仮称)の立ち上げに向けて、下記団体との連携を図っていく。

飲食物充填メーカー等、酒小売組合、酒卸組合等、飲食物販売業者、消費者団体連合会等、消費者団体学識経験者、びん商(関東連絡協議会)、行政、自治体

現時点での予定。

スケジュール(予定)

< 事前調整・準備 >

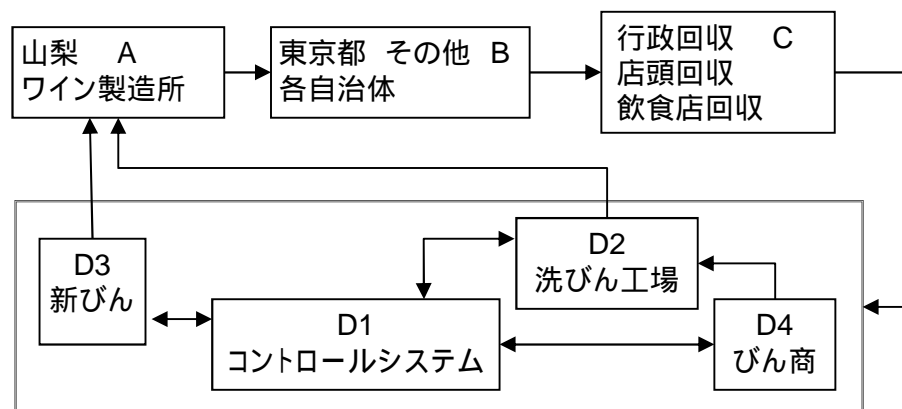
7～11月: 関東甲信越びんリユース推進協議会準備会
リユースびん拡大の調査

< 実証事業開始 >

12月: 東京都びん商向けアンケート調査

1～2月: 4地区の実態調査、新たな共通びんの検討、ウェブサイトの検討、成果とりまとめ

目指す仕組み(例)ワインびんのリユースの場合



A 製造工場: リユースびんに詰めてもらう納入方法の検討

B: 消費者、家庭、飲食店での規則に従った排出
(関係者にて協議し決定)

C: 東京都その近郊ではコンテナによる活きびん回収。
びん商が選別し洗浄。

D1: コントロールシステムで欠品を発生させないよう新びん
供給・洗びん供給を指示

D2 洗びん: コントロールシステムの指示により納品

D3 新びん: 既存の洗びん工場。需要量に応じて新規
洗びん工場も

D4 びん商: 回収数量をコントロールシステムに報告。
D3の洗びん工場への納入

「大阪発リユースビン」の開発事業

- 大阪発のリユースびん入り飲料を開発する。
- 大阪府地球温暖化防止活動推進員などを中心に、府民発想の新たなリユースびん入り飲料を開発し、大阪府及び43市町村での会議等で使用するペットボトルについて転換を図る。
- 推進組織として多様な主体が参画する、大阪びんリユース推進協議会の組織・連携を図っていく。

事業名称	「大阪発リユースビン」の開発事業
申請代表者	大阪府地球温暖化防止活動推進員3R推進チーム 大阪びんリユース推進協議会
実施地域	大阪府
対象びん	Rドロップス2号を用いた新たな茶飲料
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・大阪府地球温暖化防止活動推進員などを中心に、府民発想の新たなリユースびん入り飲料を開発し、大阪府及び43市町村での会議等で使用するペットボトルについて転換を図る。 ・推進組織として大阪びんリユース推進協議会の組織・連携を図っていく。
回収本数 (想定)	2,000～5,000本程度 出荷本数を含めて調整中
本年度の 具体的取組 (予定)	<p>大阪発リユースびん入り飲料の開発(本年度は茶飲料) 販売・回収等の流通に関する実証データの整理 各行政担当者へのヒアリング等を踏まえた、「大阪リユースビン」の在り方の検討 大阪びんリユース推進協議会の組織・連携体制の強化 / など</p>

- 企画・サポートを大阪びんリユース推進協議会が実施。大阪びんリユース推進協議会はびんリユース推進全国協議会と連携を深め、大阪を中心とするびんリユース活動の推進を行う。

協議会メンバー(予定)

大阪びんリユース推進協議会の構成メンバー(予定)は下記を想定。びんリユース推進全国協議会との連携を深め、大阪を中心とするびんリユース活動を推進

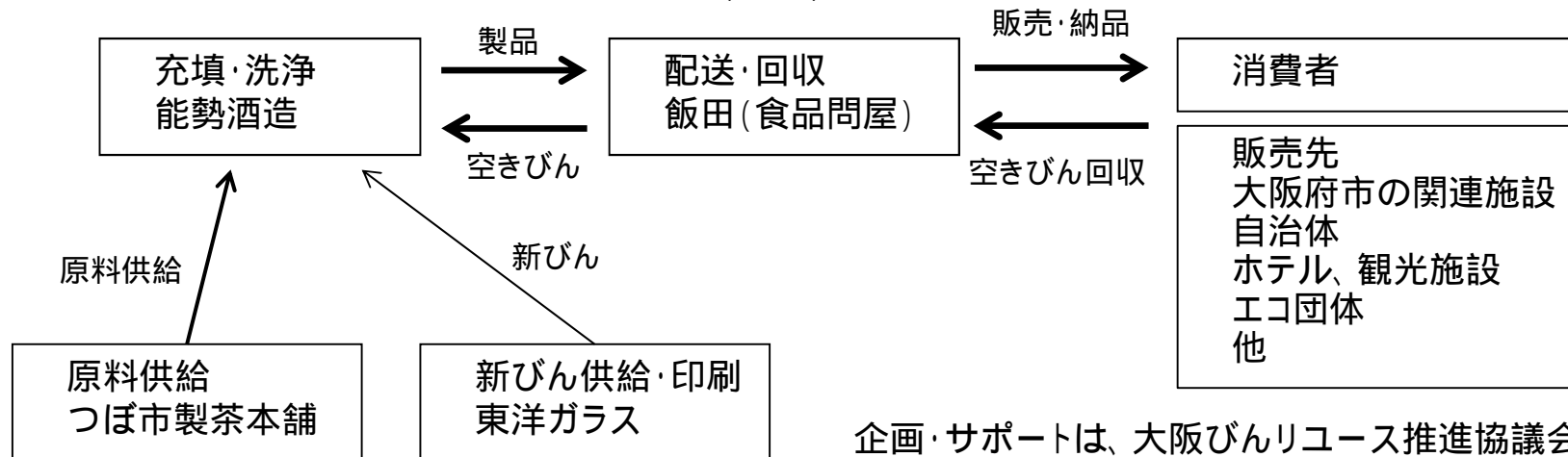
<メンバー(予定)>

- ・大阪府地球温暖化防止活動推進員3R推進チーム
- ・Rびんプロジェクト
- ・NPO法人ごみゼロネット大阪
- ・NPO法人大阪府民環境会議(OPEN)
- ・大阪ごみ減量推進会議
- ・大阪硝子壺問屋協同組合
- ・能勢酒造株式会社

スケジュール(予定)

12月:事業計画検討・調整
 1~2月:茶葉やびんデザイン等の検討、試作品の製造
 成果とりまとめ
 製品の販売は3月となる見込み

大阪リユースびんのリユースシステムの仕組み(予定)



企画・サポートは、大阪びんリユース推進協議会
 販売は、大阪硝子壺問屋協同組合

奈良県におけるリユースびんを用いた大和茶飲料普及促進事業

- 奈良市及び生駒市においてリユースびん入り飲料の利用されている。奈良県全域を実施地域とし、更なる利用促進、他の市町村での利用を拡大を目指し、多様な団体との連携を図り、地域でのびんリユース推進の体制構築(協議会)を目指す。
- 平成24年度実証事業で開発したリユースびん入り大和茶「と、わ(To WA)」を中心に、各種リユースびん入り飲料の利用促進・拡大を図る。

事業名称	奈良県におけるリユースびんを用いた大和茶飲料開発・販売事業
申請代表者	World Seed(ワールド シード)
実施地域	奈良県
対象びん	大和茶『と、わ(To WA)』(Rドロップス2号)を中心に、リユースびん入り飲料全般
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・奈良県を中心に、多様な団体との連携を図り、びんリユース推進のための協議会を設立する。平成24年度実証事業で開発した大和茶『と、わ(To WA)』に加え、各種リユースびん入り飲料の利用促進・拡大を図る。 ・奈良地域でのびんリユース推進に向けた取組を発信するための、PRイベント、シンポジウム等を企画・実施する。
回収本数 (想定)	年間約45,000本 年間の総普及本数約50,000本、回収率90%と想定
本年度の 具体的取組 (予定)	奈良地域におけるびんリユース推進組織(協議会)の設立に向けた検討・調整 奈良地域におけるリユースびんの利用促進に向けたPRイベント、シンポジウム等の企画・実施、ウェブサイトの作成 / など

- リユースびん入り大和茶『と、わ(To WA)』は、公共施設、ホテル・旅館、飲食店などに向けて販売されており、普及拡大に向けてさらなるアプローチを続けている。現在、地方公共団体では、奈良市と生駒市の2市が導入、会議やイベント等で使用されるとともに売店でも販売されている。
- 更なるリユースびんの利用拡大に向けて、奈良県を対象としたびんリユース推進協議会を設立する。

協議会メンバー(予定)

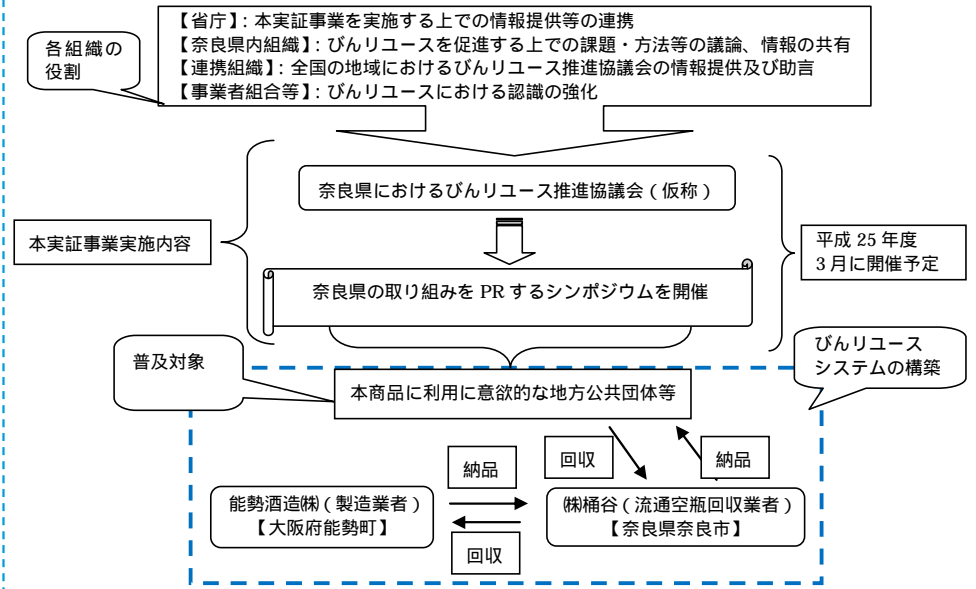
主な主体の役割は以下の通り。
 【企画・コーディネート】
 World Seed
 【参加団体(予定)】
 ・環境省近畿地方環境事務所、環境省きんき環境館
 ・奈良県 ・奈良市 ・生駒市
 ・奈良市中心市街地活性化協議会
 ・NPO法人奈良ストップ温暖化の会
 ・奈良市地球温暖化対策地域協議会
 ・びんリユース推進全国協議会 / 他

現時点での予定であり、調整・協議の上、変更される可能性がある。

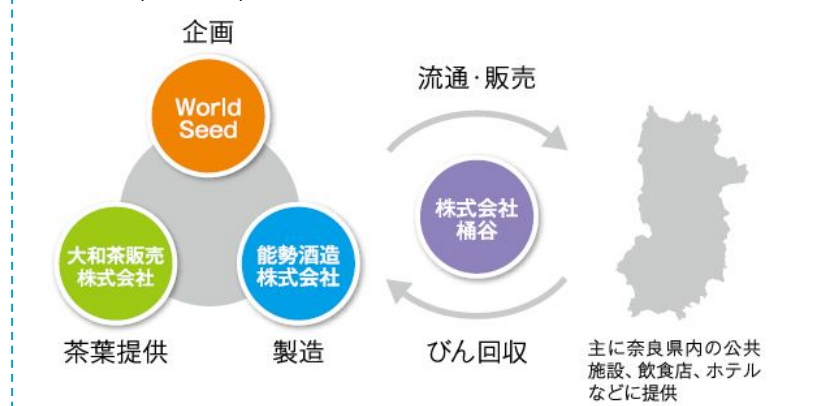
スケジュール(予定)

12月: 第2回協議会設立準備会合
 1月: 第3回協議会設立準備会合
 シンポジウム、PRイベント等の企画
 2月: 第4回協議会設立準備会合
 成果のとりまとめ
 3月: PRイベント、シンポジウムの開催

実証事業の全体像



『と、わ(To WA)』のリユースの仕組み



岡山県産茶葉を用いたリユースびん入り飲料の開発事業

- 岡山においてリユース促進を図るための象徴的なアイテムとして、地元岡山県産の茶葉を用いたリユースびん入り飲料「(仮称)岡山ほうじ茶」を開発・販売、岡山の産学官民の全ての主体にタイしてリユースの認知・体験を促す。
- 岡山大学、学生団体「岡プロ!」、岡山大学生生活協同組合との連携により、事業を進める。

事業名称	岡山県産茶葉を用いたリユースびん入り飲料の開発事業
申請代表者	NPO団体 岡山賢人プロジェクト
実施地域	岡山県
対象びん	Rドロップス2号を用いた新たな茶飲料
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・岡山においてリユース促進を図るための象徴的なアイテムとして、地元岡山県産の茶葉を用いたリユースびん入り飲料「(仮称)岡山ほうじ茶」を開発・販売、岡山の産学官民の全ての主体に対してリユースの認知・体験を促す。 ・リユースびん飲料の利用者に対するヒアリング調査による普及するための課題把握、概算レベルのカーボンフットプリントの評価などを行う。
回収本数 (想定)	約6,000本 出荷本数を含めて調整中(小売用70%回収、行政飲食店用95%回収を想定)
本年度の 具体的取組 (予定)	リユースびん飲料の開発(地元岡山県産の茶葉を用いた「(仮称)岡山ほうじ茶」) 岡山大学生生活協同組合等との連携による販売・回収 リユースびん飲料の利用者に対するヒアリング調査等 概算レベルのカーボンフットプリント・環境負荷削減効果 / など

- 岡山においてさらなるリユース推進を図るための象徴的アイテムとして、地元岡山県産の茶葉を用いたリユースびん入り飲料「(仮称)岡山ほうじ茶」を開発・販売、岡山の産学官民の全ての主体にタイしてリユースの認知・体験を促す。
- 大学・行政等の公的機関における積極的な呼びかけ、岡山大学生協において試験販売を実施する。
- 本事業のリユースびん飲料提供について概算レベルのカーボンフットプリントを評価し、その効果を明確にする。

推進体制(予定)

飲料の企画・開発を、岡山賢人プロジェクト、学生団体「岡プロ!」が実施、飲料製造・洗びん・一次物流は能勢酒造(株)、二次流通(保管・配送・空きびん回収)は東中国国分(株)が行う。
卸販売・営業は、食と農デザインプロジェクト・フーダ、販売協力として、岡山大学生協同組合に協力を得る。
調査企画・とりまとめは岡山大学廃棄物マネジメント研究センターが行う。

スケジュール(予定)

12月:事業計画検討・調整
1~2月:茶葉やびんデザイン等の検討、試作品製造
成果とりまとめ
製造の一部、製品の販売は3月となる見込み

リユースシステムの仕組み

